

# 2021年度（令和3年度）第3回福山市市政モニターアンケート結果

## 1. 調査項目

- （仮称）福山市地域戦略について
- 第20回世界バラ会議福山大会2025に向けた持続可能なばらのまちづくりについて
- 地域のデジタル化について

## 2. 調査期間・発送・回収状況

2021年（令和3年）10月27日～11月10日

	発送数	回収数	回収率
インターネット回答	475件	308件	64.8%
郵送回答	291件	203件	69.8%
合計	766件	511件	66.7%

※注 郵送で案内を送って、ネットでご回答いただいた方 15名

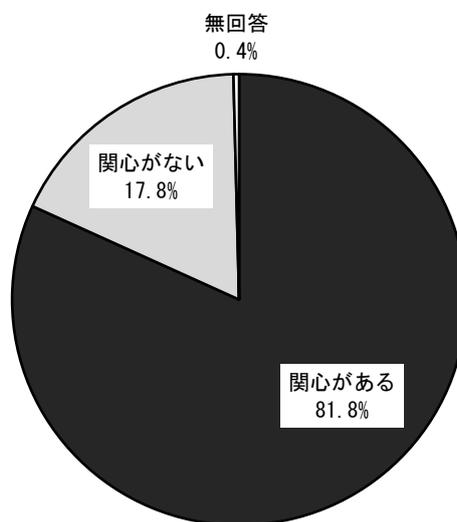
## 3. 調査結果

### （1）（仮称）福山市地域戦略について

問1 まちづくりに関心がありますか。【単数回答】

「関心がある」が81.8%を占めています。

回答者数：511件



【問1で「関心がある」と答えた方にお聞きします。】

問2 まちづくりに関心を持ったきっかけを記入してください。【自由記述】

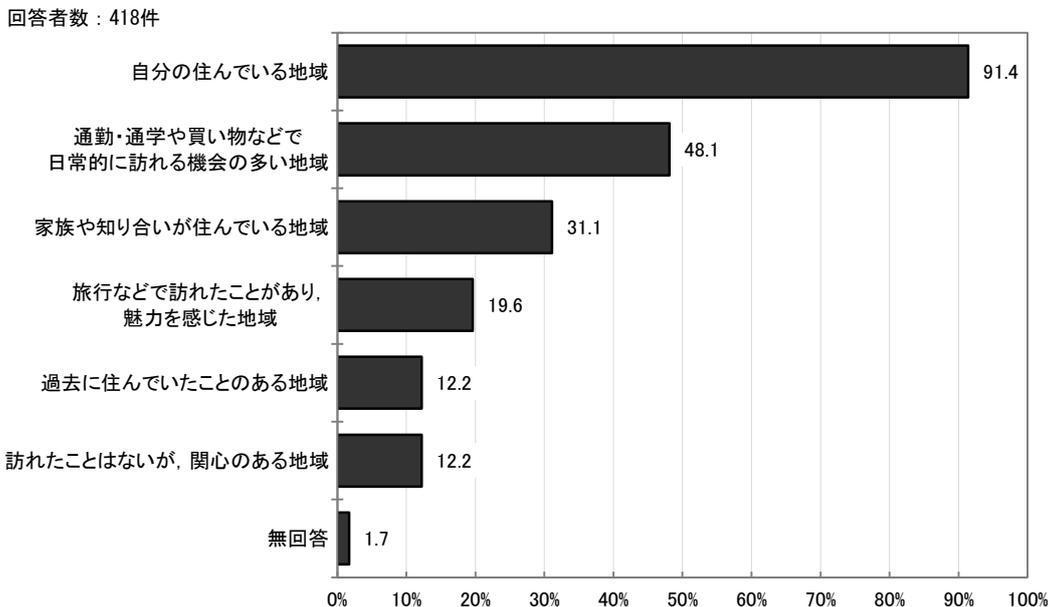
【回答（抜粋）】

内 容	年代	地域
学校で、街づくりに関する講演会等を聞いて。	10 歳代	南部
より良い町に住むためには自分から動く必要があると思うから。	10 歳代	中部
小学生で学校まで通学する時、見守ってくださる方々がいたので、興味を持った。	10 歳代	中部
市政モニターに選ばれたことで、福山市について興味を持つようになったこと。	20 歳代	中部
大学でまちづくりについて学んだから。	20 歳代	北部
福山でも今まで行った事のない山野や広瀬の方に行った時に、豊かな自然があって、こんな環境が福山にあるのなら、魅力を生かしたらいいのにとすごく感じます。	20 歳代	神辺
子育てをする中で不満に思うことがあったから。	30 歳代	神辺
親が地域で生き生きと活動しているのを見て。	30 歳代	中部
いろんな方に助けていただいてきたので、産まれ育った街に恩返しとなるようなことが何かできないかと思い始めたから	30 歳代	市内 (小学校区不明)
生まれ育った街だが、地元に戻る同級生や友人が少ないから。戻って来たいと思える街にしたい。	30 歳代	南部
ボランティア活動を行う中で、地域の活性化につながったり、子どもたちの成長につながれる活動だと感じたから。	30 歳代	東部
事業、消防団、商工会などの活動経験を通して。	40 歳代	中部
自分の居住空間や地域が素敵になるのは自分のためにも、家族のためにもなる。より良い環境作りに参加する事は喜ばしいことです。	40 歳代	東部
地域コミュニティの力が弱くなってきているから。	40 歳代	北部
地域の人間関係が薄れていると感じるため。	50 歳代	松永
県外からの来客を案内して市内を回った時、一緒に買い物に行ったりして楽しんでもらえる場所を探したため。	50 歳代	神辺
店が少なくなり買い物が不便になったと思ったから。	60 歳代	東部
モニター経験によるところが大きい。駅前再開発をととも身近に感じることができた。	60 歳代	中部
趣味を通していろいろな場所、会合等多くなり、出ることが楽しくなった。	60 歳代	中部
町内会役員をやるようになったことがスタート。	60 歳代	北部
以前は恩返しの意味からでしたが、現状は今の町内会をみると、加入率は低下し学区を背負える団体としては力不足を感じており、何とかしないとけないと思う思いから。	60 歳代	中部
町を歩いていて、ここはもっときれいに、〇〇があればという思いが強くなる。	60 歳代	南部
福山城や鞆の浦のボランティアガイドをするようになったため。	70 歳以上	中部
退職後やっと自分及び自分の周囲に関心を持てるようになった。それまでは、仕事場と家庭を行き来するだけでしたが、余裕ができて初めて周囲に対する関心が持てるようになり、まちづくりに関心も持てるようになった。	70 歳以上	中部

【問1で「関心がある」と答えた方にお聞きします。】

問3 まちづくりに関わってみたいと思う地域について、当てはまるもの全てに「○」を記入してください。【複数回答】

「自分の住んでいる地域」が91.4%で最も高くなっています。次いで「通勤・通学や買い物などで日常的に訪れる機会の多い地域」が48.1%、「家族や知り合いが住んでいる地域」が31.1%が続いています。



【問1で「関心がない」と答えた方にお聞きします。】

問4 まちづくりに関心がない（持てない）理由を記入してください。【自由記述】

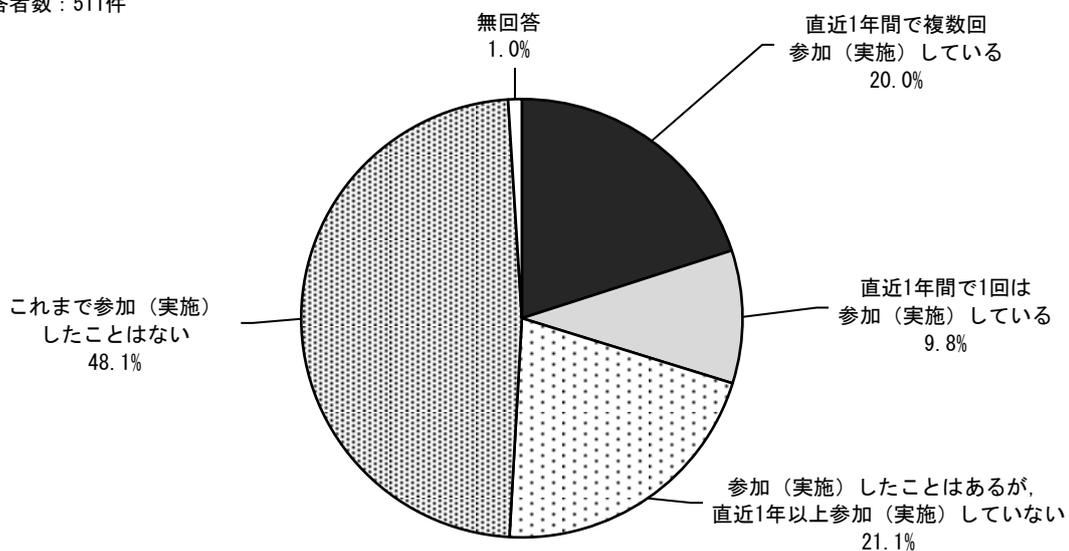
【回答（抜粋）】

内容	年代	地域
どんな企画がされているか、そもそも知らない。情報源はどこにあるのか。また、身近で困ったことがあった場合の相談窓口がわからず、意見がまちづくりに反映されるのだろうか？と思う。	10歳代	東部
将来住み続けようと思っていないから。	10歳代	中部
地域をより良くすることは、まず行政が行うべきであるため。	20歳代	市外
将来的に地元に戻ってくるか分からないから。	20歳代	中部
具体的にどのような取組なのか分からないから。また、良い地域の基準が分からないから。	20歳代	東部
日々が忙しく、考える余裕がない。自分がまちづくりに参加して役に立てるか自信もない。参加するきっかけもない。よくわからない。	20歳代	北部
いざ取り組みたいと思っても、いまいち関わり方がわからない。	30歳代	市内 (小学校区不明)
自分の生活以外に時間をさく余裕がない。	30歳代	神辺
生活していくことで手一杯なので。	40歳代	北部
子育てでそれどころではない。	40歳代	松永
今広島市へ単身赴任中で、福山へ月1回くらいしか帰れないため。	50歳代	東部
特定の有志しか参加しない行事に思える。	50歳代	北部
自分の生活と直結している感覚がない。いつもの外れな感じが否めないから。	50歳代	中部
強制的、半強制的なことが多く、息苦しさを感ずる。経済的にも余力がない。	60歳代	北部
体が不自由だから外出が億劫なため。	60歳代	中部
年齢的に若い時のような積極性がなくなってきた。	70歳以上	東部
1人、2人では、まちづくりはできない。	70歳以上	北部

問5 まちづくりへの参加（実施）頻度について、当てはまるもの1つに「○」を記入してください。【単数回答】

「これまで参加（実施）したことはない」が 48.1%で最も高く、次いで「参加（実施）したことはあるが、直近 1年以上参加（実施）していない」が 21.1%、「直近 1年間で複数回参加（実施）している」が 20.0%が続いています。

回答者数：511件

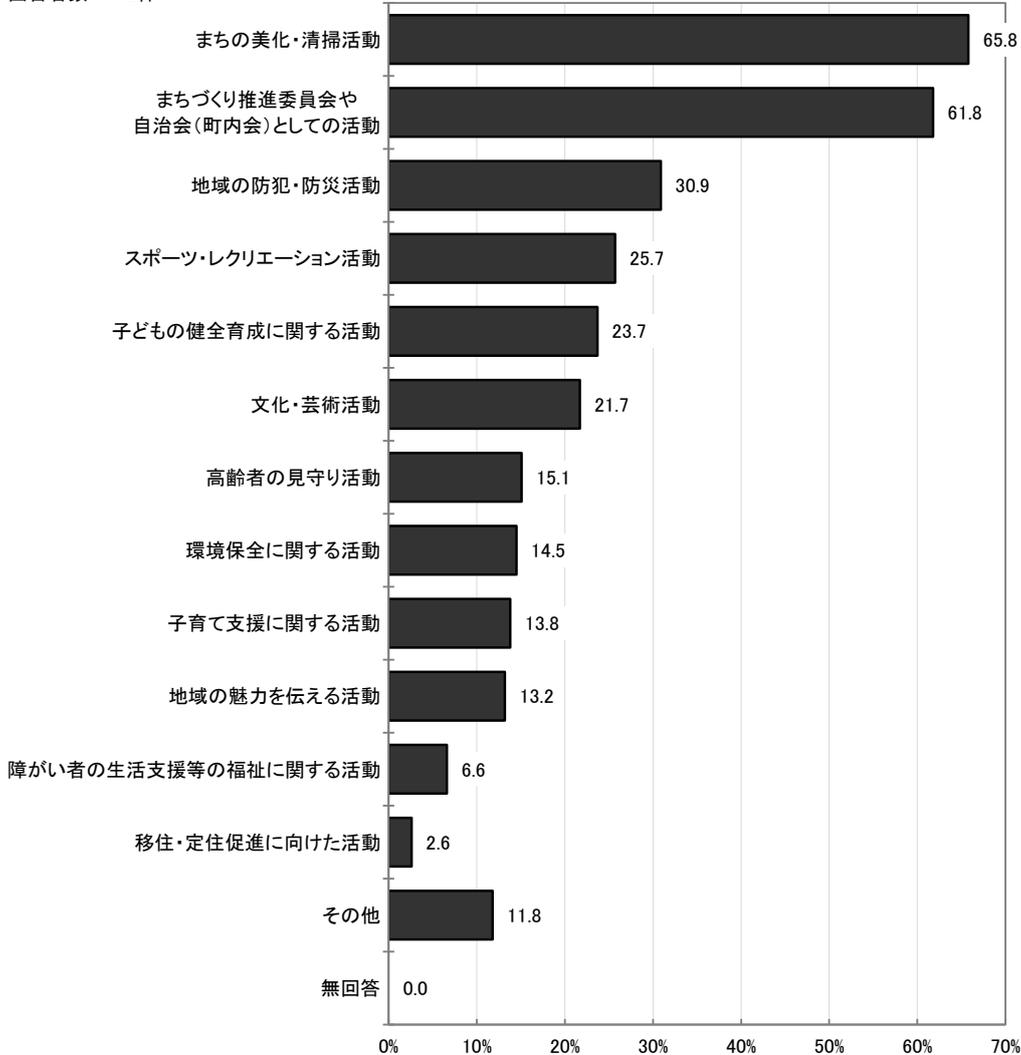


【問5で「直近1年間で複数回参加（実施）している」、「直近1年間で1回は参加（実施）している」と答えた方にお聞きします。】

問6 直近1年間で参加（実施）したまちづくりに当てはまるもの全てに「○」を記入してください。【複数回答】

「まちの美化・清掃活動」が65.8%で最も高くなっています。次いで「まちづくり推進委員会や自治会（町内会）としての活動」が61.8%、「地域の防犯・防災活動」が30.9%が続いています。

回答者数：152件



【その他回答（抜粋）】

内容	年代	地域
外国人留学生への支援	20歳代	中部
地域イベント(マルシェ)のスタッフとしての活動。	30歳代	中部
私費で備後・備中の物産をアピールしている。	40歳代	東部
HPの管理。	50歳代	中部
地域対象のパソコン教室開催。	60歳代	中部
獣害への対応、土砂崩れへの対応、大雨への対応。命の危険を感じながらやっている。	60歳代	神辺
水害に関連のある地域の対策や復旧対策に関心があり、行政機関との連携に努めている。	70歳以上	中部
「町内会運営に関する諸問題」について冊子を発行した。福山市天然記念物「誰故草・エヒメアヤメ」の保有、栽培の指導書を出版した。	70歳以上	中部
小学生の登下校時の見守り活動、地域の青色防犯パトロール。	70歳以上	南部

問7 まちづくりに対する関心を高めるために、必要だと思う支援やきっかけ（活動内容の周知啓発、まちづくり活動の拠点施設、相談相手、参加のインセンティブ等）、参加したいと思えるまちづくりのやり方（活動時間、頻度、デジタル技術の活用等）や雰囲気（若い人が多い、外部に開かれている等）を記入してください。【自由記述】

【回答（抜粋）】

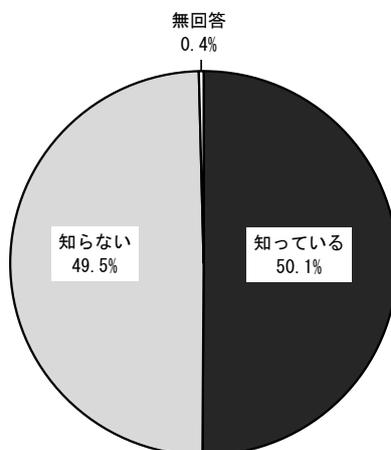
内 容	年代	地域
学校の総合的な学習などでまちづくりについて考える授業を設ける。	10 歳代	中部
意見が言いやすく、一部の人が喜びがあるのではなく、より多くの人 が共感を得られること。一つでも実現することができる内容。	10 歳代	北部
より多くの人目に触れる場所(店舗や公共施設)で多様な参加形態 (デジタルかアナログ、申込の要否など)を提示する必要があると思 います。参加者へのメリットが分かりやすい事も重要だと思います。	20 歳代	北部
きっかけとしてはボランティア活動が良いと思う。無報酬、有報酬は問 わないが、地域の現状や人の思いを知る場があるのは効果的な支援 になるだろう。	20 歳代	東部
ネットを使つての意見交換やアンケートの実施。	30 歳代	東部
一人だと参加しにくいので、友人と複数で参加できるようなイベント や、同世代の人と関わりながら活動できることがあると参加しやすい と思います。	30 歳代	神辺
若い人に地域活動に参加してもらうような取組が必要。	30 歳代	松永
子ども医療、保育料等、他の地域に比べ住民全員に優しくない。市の 寄り添った姿勢がないから他人事である。他の地域を参考にし、実行 してはどうか。	30 歳代	南部
活動内容の周知啓発、活動費の支給。	30 歳代	神辺
車がなくても集える場所が各地にあること。そこで中学生や高校生の 年代から頻繁に出入りできる居場所づくり。その中学生や高校生が 親になり子どもと訪れたり、高齢者になっても行ったりすることがで きる場所づくりが必要。	40 歳代	松永
発達障害児でも参加しやすい活動。	40 歳代	中部
情報発信(魅力的な、興味が持てるような)、気軽に参加できる、年齢 層を固定化しない。	40 歳代	東部
インターネット等を使用したデジタル技術の活用が必要。まずはアク セスしてもらうためのCM発信。定期的アクセスしてもらえるように、 アプリを開発。クーポン等を配るなどのメリットを用意する。	50 歳代	松永
活動に対する評価をしっかりしてあげると、もっと盛り上がる気がす る。	50 歳代	北部
境界を越えたまちづくりの活動家たちとの情報交換会に参加したい。	60 歳代	北部
参加する人が同じメンバーに偏りがち。いろいろな人に声かけを行 い、楽しかったと思ってもらえるような雰囲気作りが欲しい。	60 歳代	南部
有償ボランティアの活動が必要。	70 歳以上	北部
町内会、老人会、公民館等を利用した広報活動及び家庭内に閉じこ もっている老人たちを外に出す活動を行ってほしい。	70 歳以上	中部
住民まちづくりの必要性や活動成果の実態などの周知啓発を徹底す る。また、まちづくりに積極的に取り組む姿を住民に見てもらう。	70 歳以上	中部
これからのまちづくりは若い人が中心になって頑張っていたきたい。 未来のためにも若い人の考え方を取り入れたまちづくりを行って ほしい。	70 歳以上	東部

## (2) 第20回世界バラ会議福山大会 2025 に向けた持続可能な ばらのまちづくりについて

問1 2025年(令和7年)5月に、「世界バラ会議福山大会」が開催されることを知っていますか。次の中から当てはまるものに「○」を記入してください。【単数回答】

「知っている」が50.1%、「知らない」が49.5%となっています。

回答者数：511件

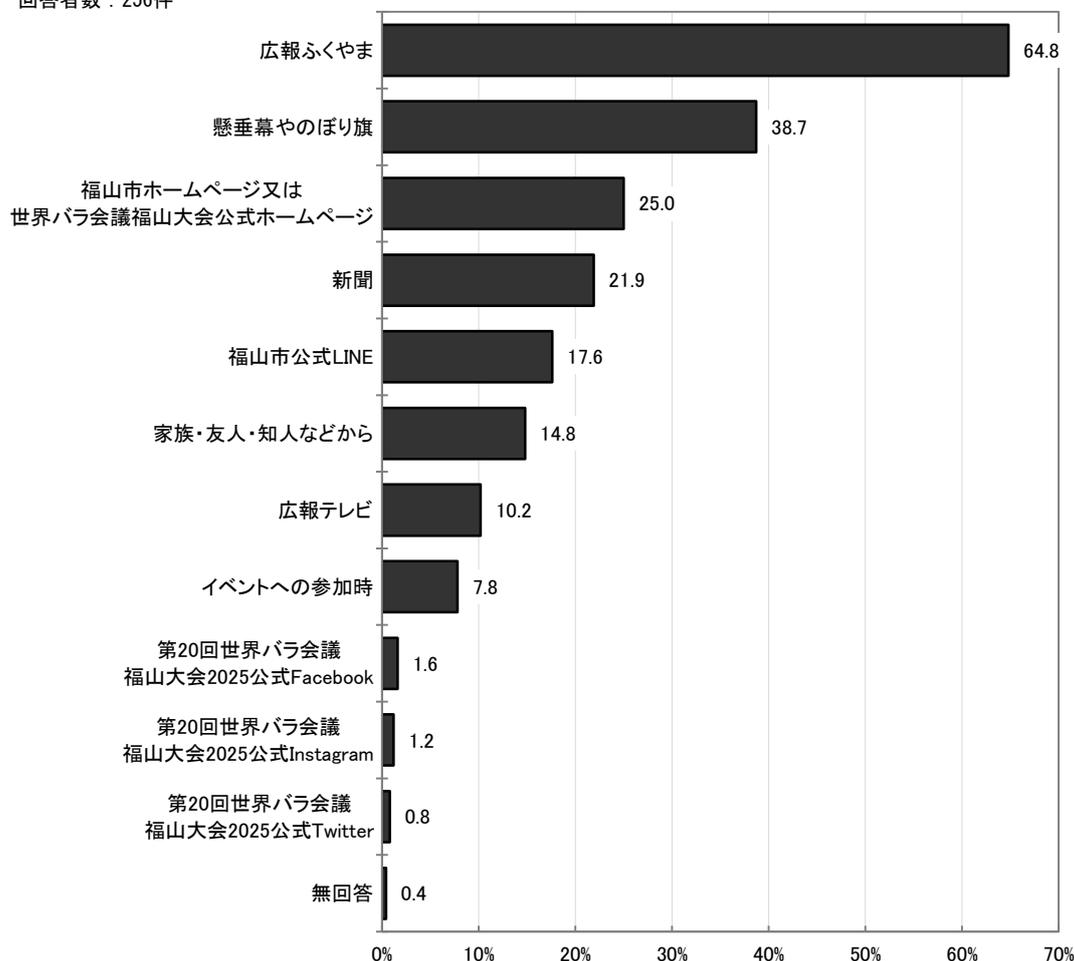


【問1で「知っている」と答えた方にお聞きします。】

問2 世界バラ会議福山大会が開催されることをどこで知りましたか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。【複数回答】

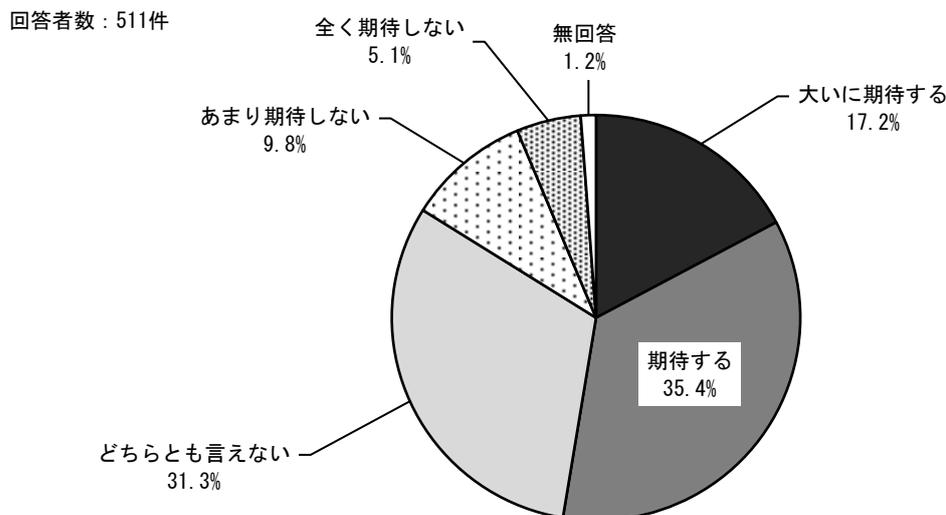
「広報ふくやま」が64.8%で最も高くなっています。次いで「懸垂幕やのぼり旗」が38.7%、「福山市ホームページ又は世界バラ会議福山大会公式ホームページ」が25.0%で続いています。

回答者数：256件



問3 世界バラ会議福山大会に対する期待度について、次の中から当てはまるものに「○」を記入してください。【単数回答】

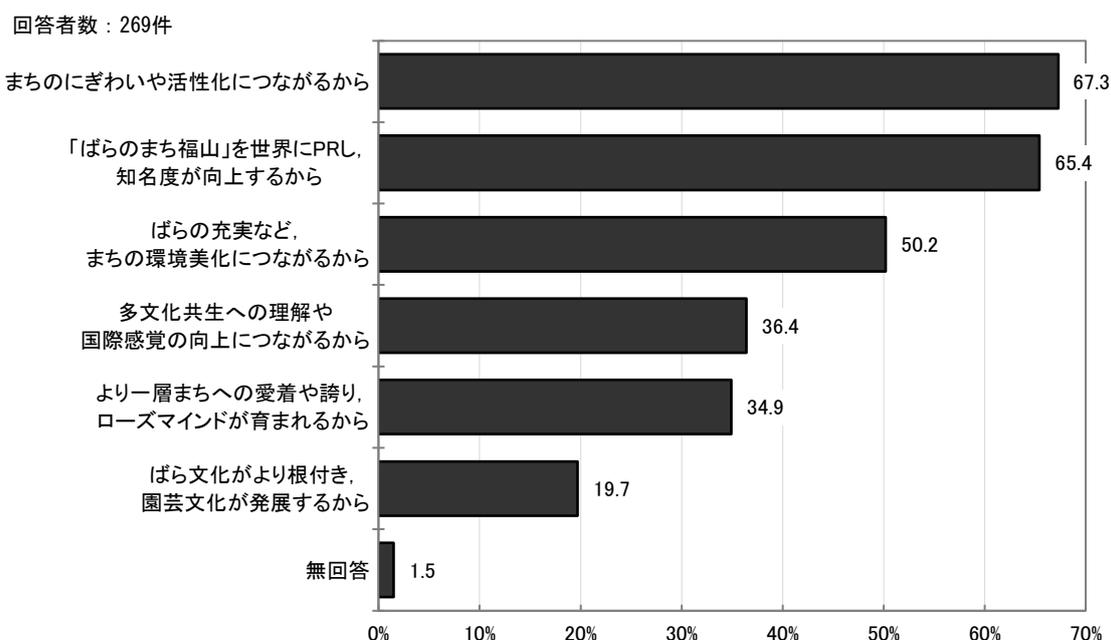
「期待する」が35.4%で最も高くなっています。次いで「どちらとも言えない」が31.3%、「大いに期待する」が17.2%が続いています。期待する層(「大いに期待する」+「期待する」)は半数以上となっています。



【問3で世界バラ会議福山大会に「大いに期待する」又は「期待する」と答えた方にお聞きします。】

問4 期待する理由について、次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。【複数回答】

「まちなぎわいや活性化につながるから」が67.3%で最も高くなっています。次いで「「ばらのまち福山」を世界にPRし、知名度が向上するから」が65.4%、「ばらの充実など、まちの環境美化につながるから」が50.2%が続いています。



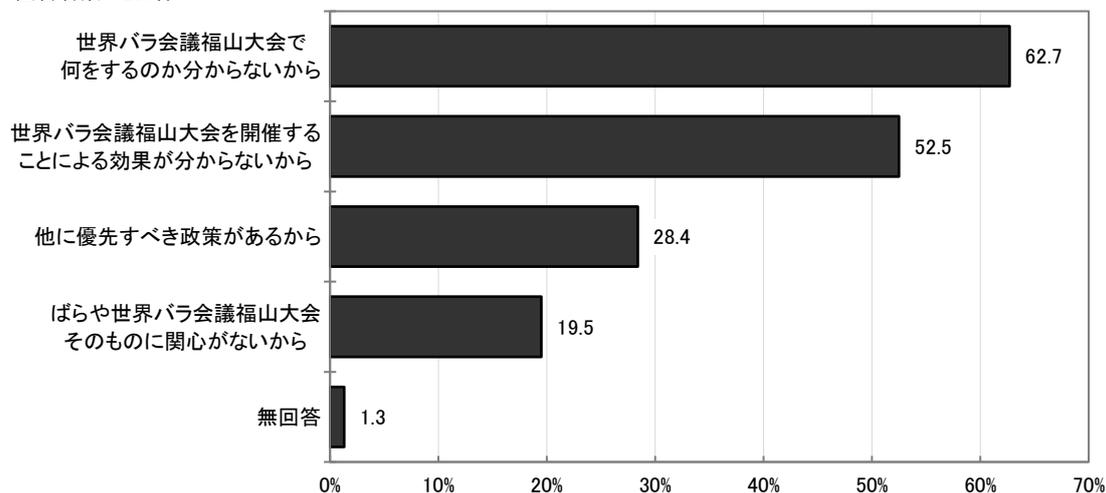
**【問3で世界パラ会議福山大会に「どちらとも言えない」「あまり期待しない」「全く期待しない」と答えた方にお聞きします。】**

問5 その理由について、次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。

**【複数回答】**

「世界パラ会議福山大会で何をするのか分からないから」が62.7%で最も高くなっています。次いで「世界パラ会議福山大会を開催することによる効果が分からないから」が52.5%、「他に優先すべき政策があるから」が28.4%が続いています。

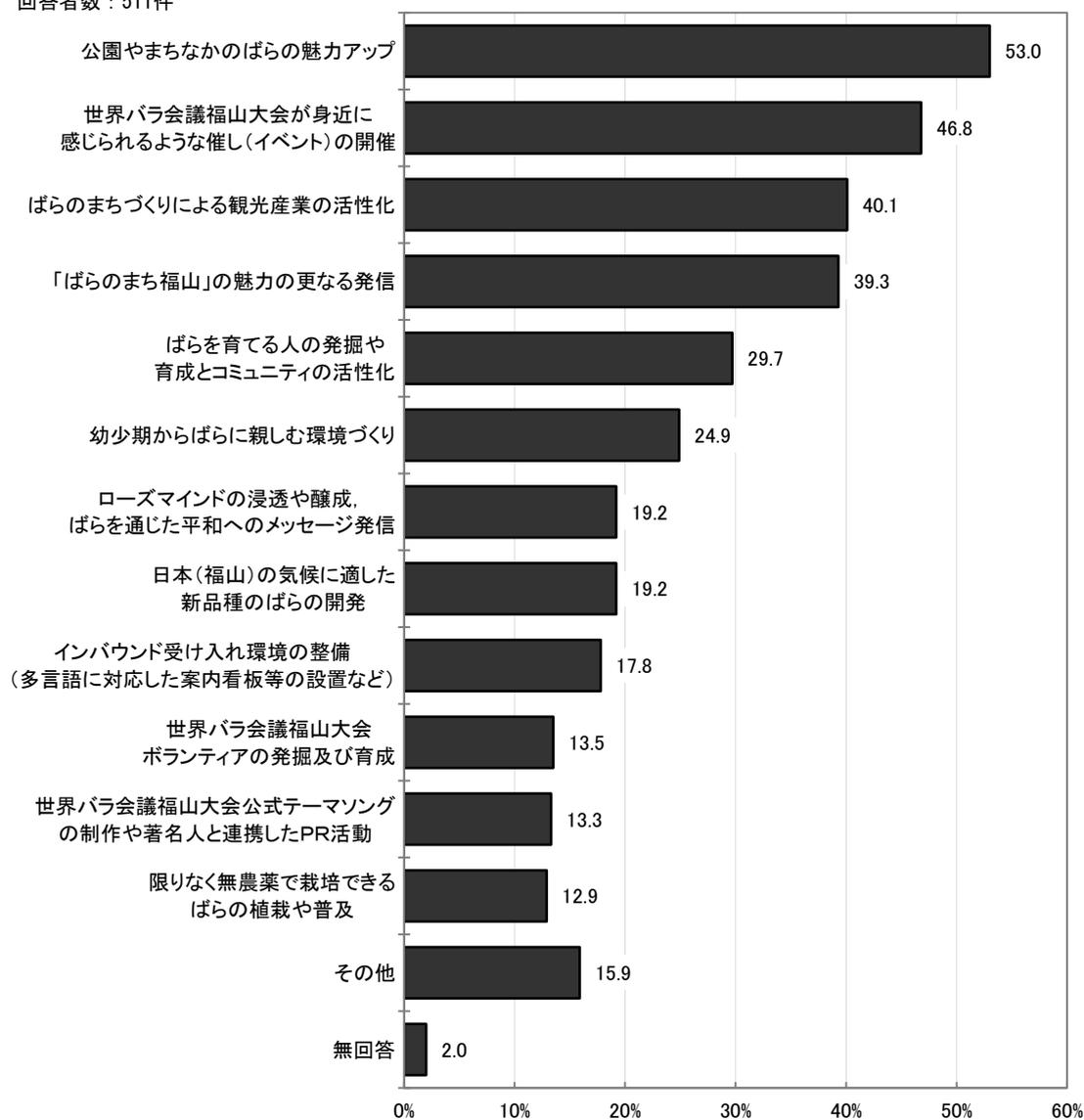
回答者数：236件



問6 世界バラ会議福山大会の成功に向け、どのようなことに取り組んでいく必要があると思いますか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。【複数回答】

「公園やまちなかのばらの魅力アップ」が 53.0%で最も高くなっています。次いで「世界バラ会議福山大会が身近に感じられるような催し(イベント)の開催」が 46.8%, 「ばらのまちづくりによる観光産業の活性化」が 40.1%で続いています。

回答者数 : 511件



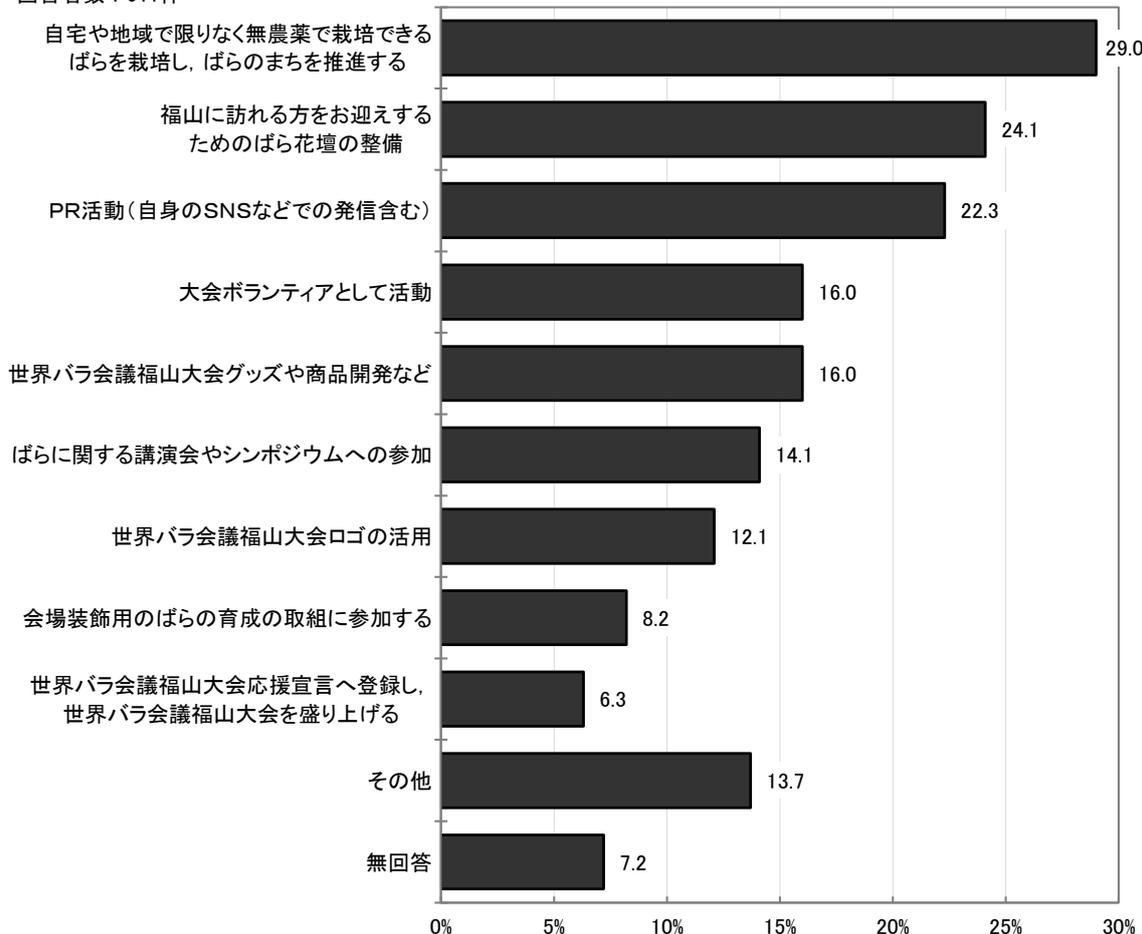
【その他回答（抜粋）】

内 容	年代	地域
「ばらのまち」と言うなら、まずは誰が見ても「ばらのまちだ」と感じるまちづくりが先です。	20 歳代	中部
このアンケートで「世界バラ会議」を始めて知ったので、もっと市民に対してアピールしても良いと思う。	30 歳代	北部
福山らしいものや人とのコラボ(例: 福山城, コウモリ, 備後緋, 下駄, デニム, くわい, 声優の福山潤さんなど)。	30 歳代	中部
地域や学区ごとにばら花壇マップを作成して近所でもばらが見られる所があると遠方から訪れた知人などに気軽に紹介したりできる。	30 歳代	中部
ばらに関して市内中心の公園や施設に偏り過ぎている。福山市とは、駅周辺の事だけではない。	40 歳代	中部
この大会が何につながるのかをはっきりと示すこと。	40 歳代	中部
世界バラ会議開催後の将来像が理解できていない。	60 歳代	北部
福山駅構内からメイン会場まで、ばらで埋め尽くす。	60 歳代	北部
ばら公園⇄福山駅の公共交通のアクセスの便利さを増加させる。市民が平素参加できるイベントの増加を図る。	70 歳以上	南部
国内外との交流にインターネットを活用。もっとデジタル対応でオンライン交流を増やすこと。	70 歳以上	東部

問7 世界バラ会議福山大会の開催コンセプトを、「みんなで創る」「みんなで盛り上げる」「みんなで輝く」とし、市民総参加による大会の開催をめざしています。世界バラ会議福山大会のどのような取組に参加したいと思いますか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。【複数回答】

「自宅や地域で限りなく無農薬で栽培できるばらを栽培し、ばらのまちを推進する」が 29.0%で最も高くなっています。次いで「福山を訪れる方をお迎えするためのばら花壇の整備」が 24.1%、「PR活動(自身のSNSなどでの発信含む)」が 22.3%で続いています。

回答者数：511件



【その他回答（抜粋）】

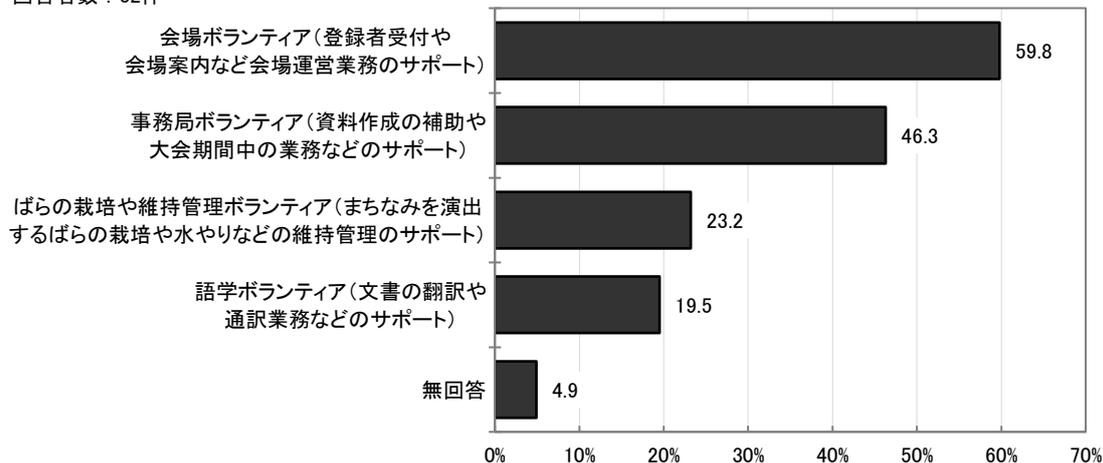
内容	年代	地域
世界バラ会議の内容がわからないので何をすれば良いのかわからない。	20 歳代	松永
仕事でボランティア参加できない現状があるので、勤め先の会社が何かしらで参加できると自身も参加しやすい。	30 歳代	南部
福山の町であたたかく出迎える。	30 歳代	中部
みんな、とはどの地域の人間を指しているのか。本当に福山市全体の人間を指しているように感じない。	40 歳代	中部
自宅や地域で栽培しやすい品種があるなら PR し、自らも購入して育ててみたい。	50 歳代	中部
町内会単位で気軽に参加できることを考えてほしい。	50 歳代	東部
市内のばらの株数は、多いと思うが、目立っていない。中心部を外れると尚更。	50 歳代	中部
開催コンセプトをもっともっと市民に理解されるような PR が必要。	60 歳代	北部
ボランティアガイドとして福山の魅力を発信する。	70 歳以上	中部
自宅のばらを増やす。	70 歳以上	南部

【問7で「大会ボランティアとして活動」と答えた方にお聞きします。】

問8 どのようなボランティア活動をしたいと思いますか、次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。【複数回答】

「会場ボランティア(登録者受付や会場案内など会場運営業務のサポート)」が 59.8%で最も高くなっています。次いで「事務局ボランティア(資料作成の補助や大会期間中の業務などのサポート)」が 46.3%,「ばらの栽培や維持管理ボランティア(まちなみを演出するばらの栽培や水やりなどの維持管理のサポート)」が 23.2%で続いています。

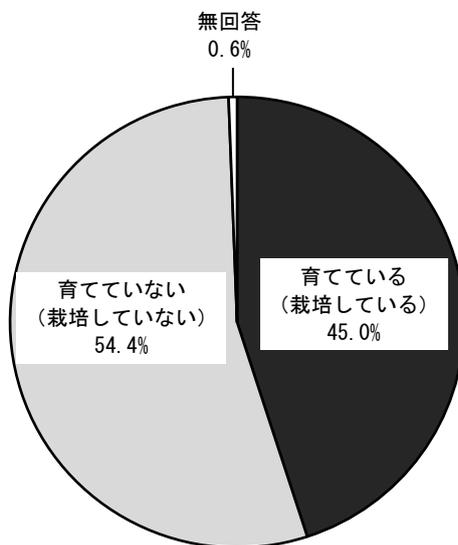
回答者数：82件



問9 家庭や地域などでばらを育てていますか。次の中から当てはまるものに「○」を記入してください。【単数回答】

「育てている(栽培している)」が 45.0%,「育てていない(栽培していない)」が 54.4%となっています。

回答者数：511件

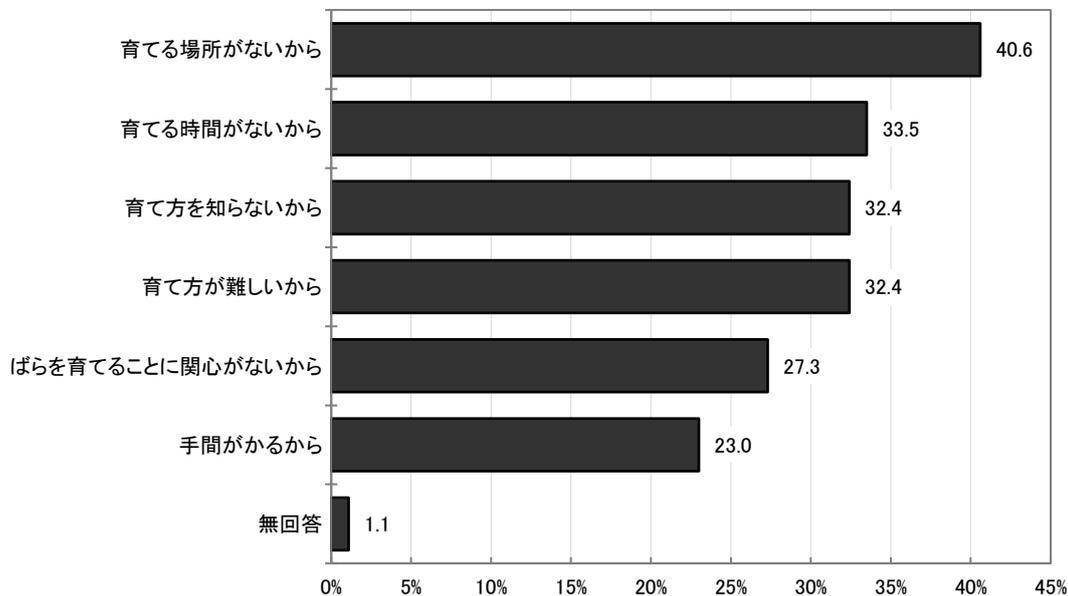


**【問9でばらを「育てていない」と答えた方にお聞きします。】**

問10 育てていない理由について、次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。【複数回答】

「育てる場所がないから」が40.6%で最も高くなっています。次いで「育てる時間がないから」が33.5%、「育て方を知らないから」「育て方が難しいから」が32.4%が続いています。

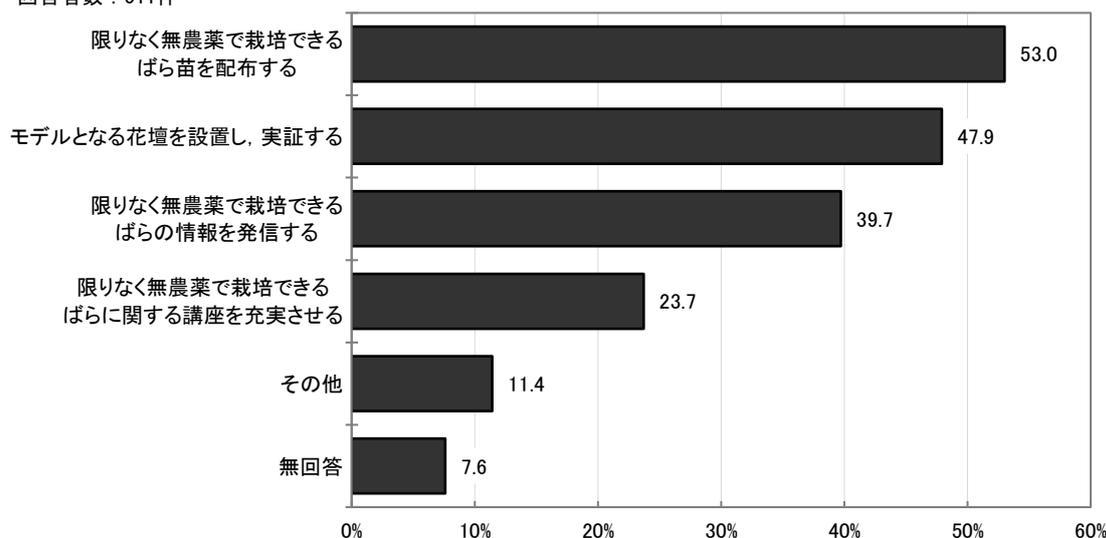
回答者数：278件



問 11 本市では、大会を契機にSDGsの理念に合致する持続可能なばらのまちづくりを推進するため、市内の公共空間におけるばらを誰でも栽培でき、限りなく無農薬で栽培できるばらへと転換し、安心、安全で市民の皆さんと共に彩り豊かな街の新しい景観づくりに取り組んでいきます。限りなく無農薬で栽培できるばらを普及させるためにどのようなことが必要だと思いますか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。【複数回答】

「限りなく無農薬で栽培できるばら苗を配布する」が 53.0%で最も高くなっています。次いで「モデルとなる花壇を設置し、実証する」が 47.9%、「限りなく無農薬で栽培できるばらの情報を発信する」が 39.7%で続いています。

回答者数：511件



【その他回答（抜粋）】

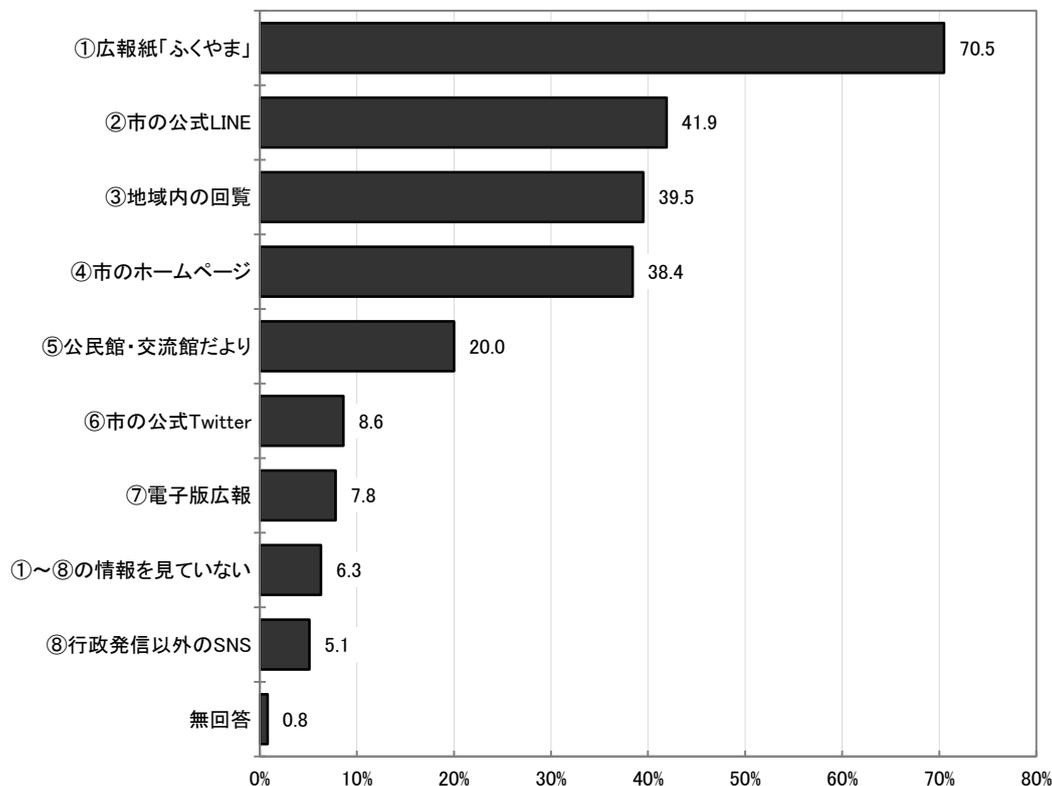
内容	年代	地域
ばらを育てる余裕が持てるくらいの時間的・経済的余裕が、まず必要ではないか。	30 歳代	中部
無農薬で栽培出来るばらの開発をしている事を初めて知りました。現段階でどこまで開発が進んでいるのかを知りたい。	30 歳代	中部
入園や入学、家を建てた時等のタイミングで苗を配布する。	30 歳代	中部
市のホームページに専用サイトを作り、育て方の詳細を掲載して欲しい。	40 歳代	中部
小学校や中学校で生徒に配布し、同時に学校で(or どこかの施設に通い)生徒自身で育てる(育て方を身に付ける)。	40 歳代	中部
栽培したばらを食べるイベントを開催し、無農薬で安全であることをアピールする。	50 歳代	南部
地域にもばらの花壇があるが、高齢の方が手入れをしていて、この先継続して行うことができるのか？	50 歳代	北部
SDDs とばら栽培の関連性がよく理解できない。	60 歳代	南部
従来、HT(ハイブリッド・ティー※)は花の大きさ、形状、匂いなどをばら栽培の目標にやってきたのだから、市民に無農薬栽培への転換をアピールすべきです。 (※ハイブリッド・ティー:四季咲きで大輪の花が咲くばら)	60 歳代	北部
学区ごとにばら栽培に関する講習会などを開催して、住民にばらの魅力と関心を高める。講師はその学区内を継続して担当するように配慮する。	70 歳以上	中部

### (3) 地域のデジタル化について

問1 市や地域の情報をどのような媒体で入手していますか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。【複数回答】

「①広報紙「ふくやま」」が70.5%で最も高くなっています。次いで「②市の公式LINE」が41.9%、「③地域内の回覧」が39.5%で続いています。

回答者数：511件

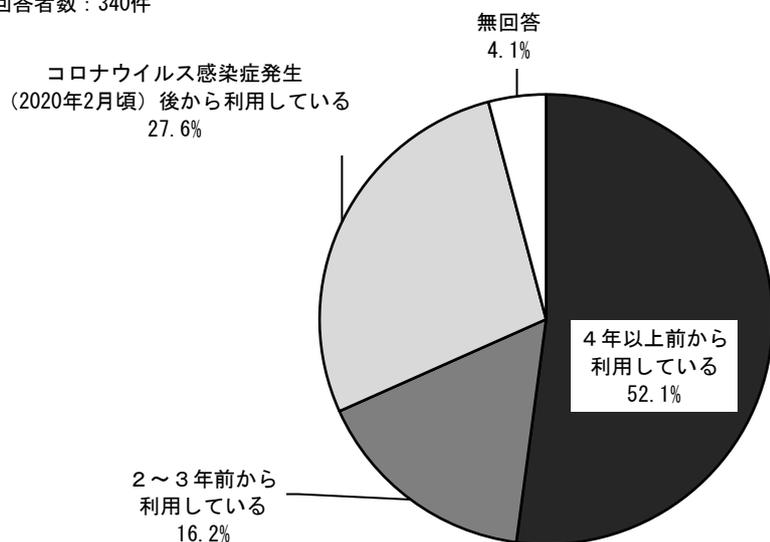


【問1で市や地域の情報を「②④⑥⑦⑧の電子媒体」から入手していると回答された方にお聞きします。】

問2 スマートフォンやタブレット等の利用状況について、次の中から当てはまるもの1つに「○」を記入してください。【単数回答】

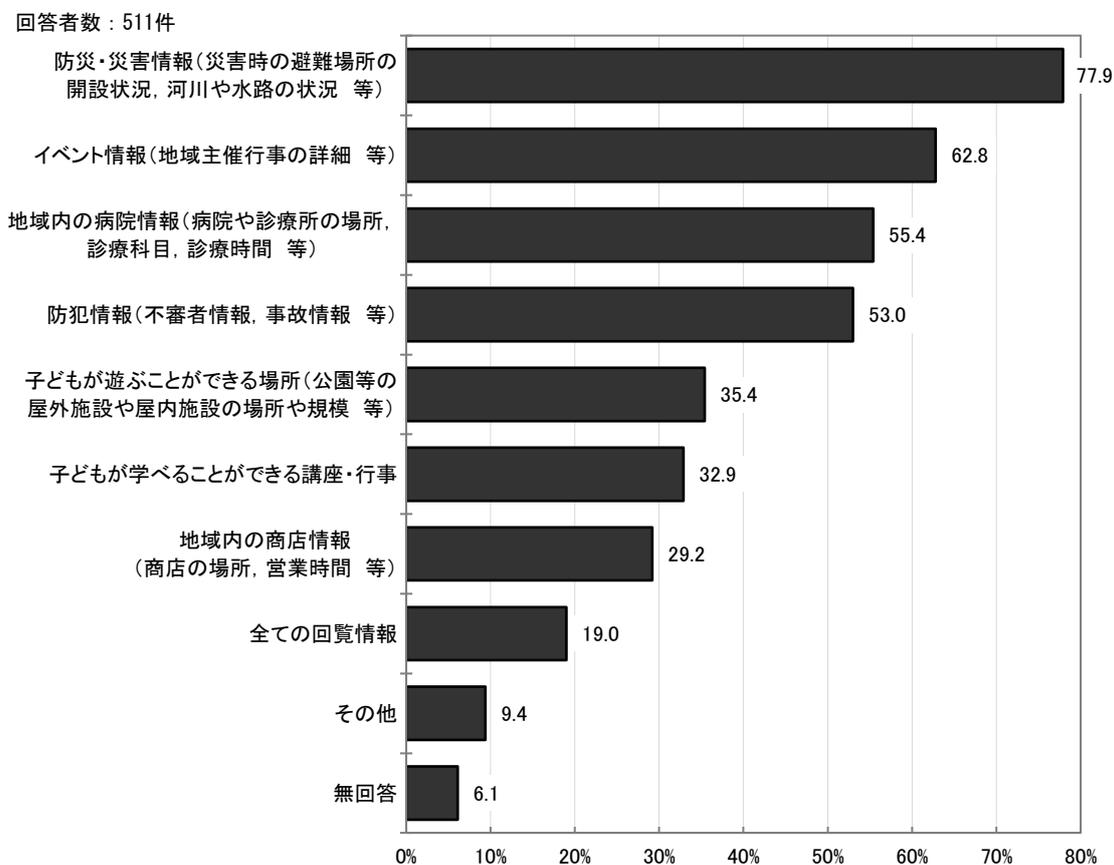
「4年以上前から利用している」が52.1%を占めています。

回答者数：340件



問3 どのような地域情報がスマートフォンやタブレット等から見られたらよいと思いませんか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。【複数回答】

「防災・災害情報(災害時の避難場所の開設状況, 河川や水路の状況 等)」が 77.9%で最も高くなっています。次いで「イベント情報(地域主催行事の詳細 等)」が 62.8%, 「地域内の病院情報(病院や診療所の場所, 診療科目, 診療時間 等)」が 55.4%で続いています。

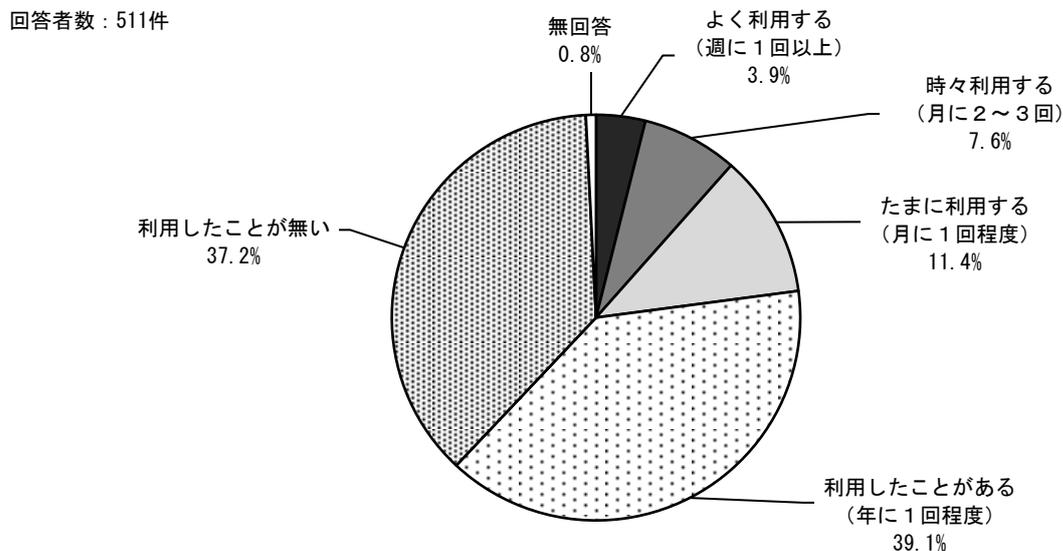


【回答(抜粋)】

内容	年代	地域
ごみの収集に関すること	30歳代	中部
無料Wi-Fiの設置場所	30歳代	中部
必要なケースに応じて必要な手続き及びその詳細サイトへジャンプできる内容	30歳代	南部
保育所の空き情報, 放課後等デイサービスや移動支援など福祉サービスの空き情報	30歳代	東部
小児休日診療待合時間	30歳代	松永
市主催以外のイベント情報もまとめて発信してほしい	40歳代	中部
公共交通機関時刻表	40歳代	市内 (小学校区不明)
公共施設の予約(空き)情報	60歳代	中部

問4 公民館等の施設を利用したことがありますか。次の中から当てはまるもの1つに「○」を記入してください。【単数回答】

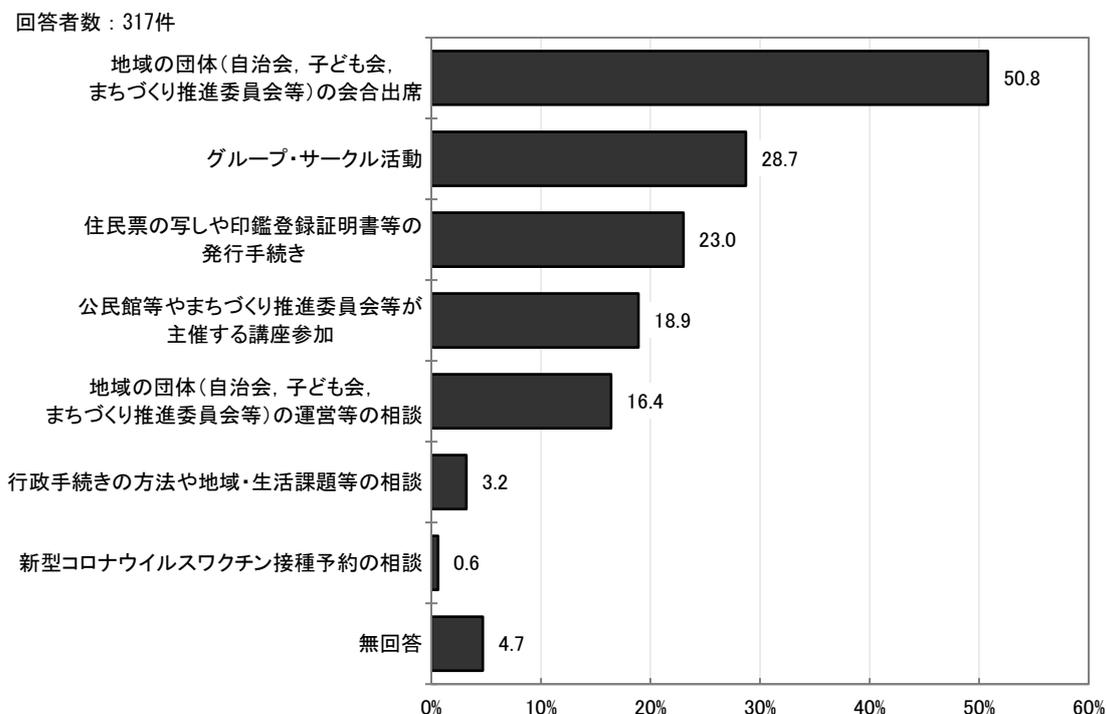
「利用したことがある(年に1回程度)」が 39.1%で最も高くなっています。次いで「利用したことが無い」が 37.2%, 「たまに利用する(月に1回程度)」が 11.4%で続いています。



【問4で「年に1回程度以上利用する」と回答された方にお聞きします。】

問5 利用目的は何ですか。次の中から当てはまるもの全てに「○」を記入してください。【複数回答】

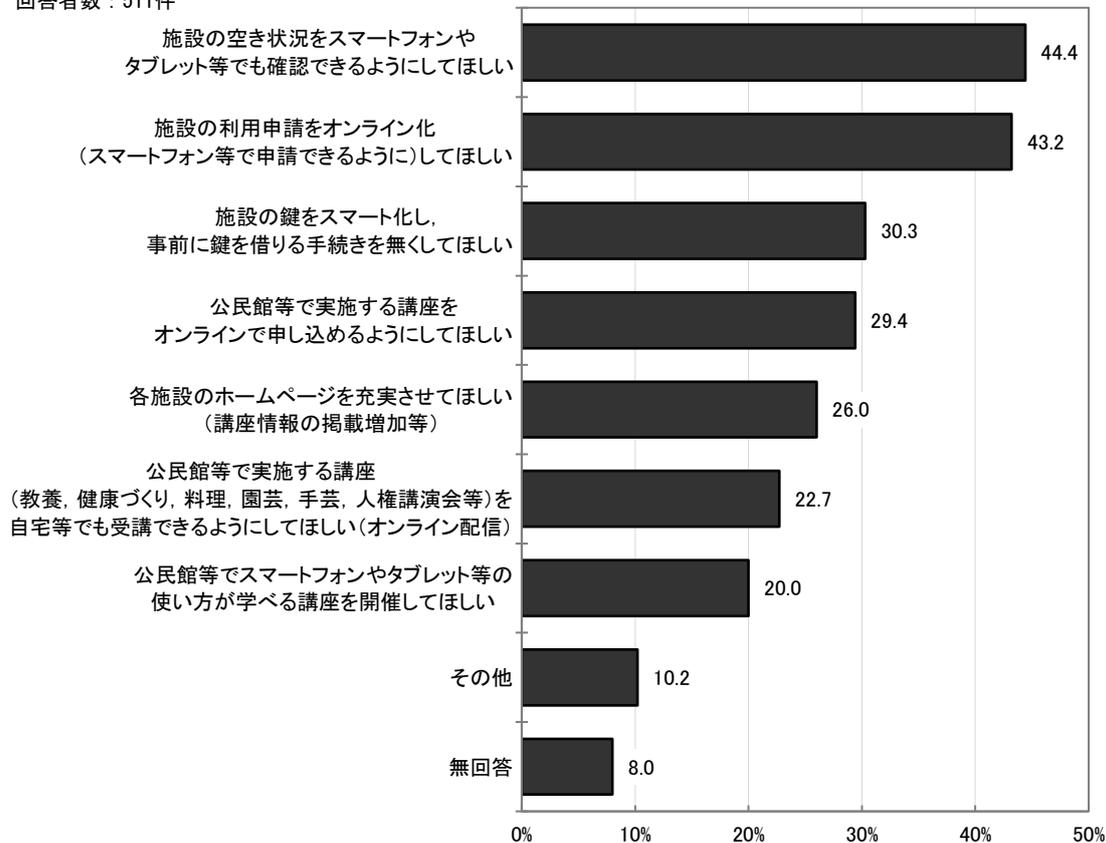
「地域の団体(自治会, 子ども会, まちづくり推進委員会等)の会合出席」が 50.8%で最も高くなっています。次いで「グループ・サークル活動」が 28.7%, 「住民票の写しや印鑑登録証明書等の発行手続き」が 23.0%で続いています。



問6 公民館等の施設において、どのようなデジタル化に取り組んでほしいですか。取り組んでほしいこと全てに「○」を記入してください。【複数回答】

「施設の空き状況をスマートフォンやタブレット等でも確認できるようにしてほしい」が44.4%で最も高くなっています。次いで「施設の利用申請をオンライン化(スマートフォン等で申請できるように)してほしい」が43.2%、「施設の鍵をスマート化し、事前に鍵を借りる手続きを無くしてほしい」が30.3%が続いています。

回答者数：511件



【その他回答（抜粋）】

内容	年代	地域
まず、公民館で何をしているのか、誰が参加できるのかの情報はどこでわかるのかわからないので、デジタル配信してほしい	30 歳代	中部
公共の施設を平等に申請・利用・使用したい。平日、日中勤務者は不利である	30 歳代	南部
公民館等での教室や地域での活動をオンラインで見れるようにしてほしい(掲示板等も)	30 歳代	北部
今のデジタル化という流行に流されすぎていたら、大切なものを失ってしまう。アナログでなければならないことも必要。	40 歳代	市内 (小学校区不明)
施設がデジタル化されても、それを見る家庭のネット環境が充実していないと意味がない	40 歳代	北部
小さな子どもがいるので、自宅で講座が受けられると助かる。自身の楽しみにもつながる	40 歳代	中部
デジタル化することにより現時点では高齢者を除外することになるため止めたほうがよい	40 歳代	東部
災害時にも活用できるようにしてほしい	40 歳代	中部
できるだけスマホやPCの使い方の講座を繰り返しやってもらいたい	60 歳代	中部
スマートフォン、タブレットを保有していないため不可能	70 歳以上	北部